

取扱説明書

プッシュインソケット

SJシリーズ

形番：SJ1S-21L、SJ2S-21L

このたびは弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品の取付け、配線作業、運転および保守・点検を行う前にこの取扱説明書をよくお読みいただき正しくご使用ください。
また、この取扱説明書は最終ユーザ様へ渡るようご配慮ください。
なお、本製品の取り扱いには電気専門知識が必要です。

安全に関するご注意

本製品は弊社の厳しい品質管理体制のもとで製造されており、万一本製品の故障により重大な事故や損害の発生のおそれがある用途へご使用の際はバックアップやフェールセーフ機能をシステムに追加してください。本取扱説明書では、誤った取り扱いをした場合に生じることが想定される危険の度合いを「警告」「注意」として区別しています。それぞれの意味するところは以下のとおりです。

警告

取り扱いを誤った場合、人が死亡又は重傷を負う可能性があります。

注意

取り扱いを誤った場合、人が傷害を負うか物的損害が発生する可能性があります。

警告

●取付け、取外し、配線作業および保守・点検は必ず電源を切って行ってください。機器の破損のみならず、感電および火災の可能性があります。

注意

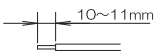
- 配線は印加電圧、通電電流に適した電線を使用してください。
- リレーおよび出力機器との接続は完全に行ってください。不完全な状態で使用されますと、異常な発熱、火災の危険があります。
- 安全性を確保するためにも本取扱説明書の各事項を十分にお守りください。
- 設置・配線作業時に配線くずやドリル加工の切粉などが本製品内部に入らないように注意してください。配線くずなどが本製品内部に入りますと火災、故障、誤動作の原因となります。
- 本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。
- 分解、修理、改造等を行わないでください。
- 誤った接続をされますと予期せぬ誤動作、異常発熱、発火等の原因となりますのご注意ください。

(1) 配線上的ご注意

配線には、次の適合電線をご使用ください。

適合電線 (単線・より線)	0.14 ~ 1.5 mm ² (AWG26 ~ 16)
被覆剥き長さ (フェール端子未使用時)	10 ~ 11mm (*1)
フェール	表「電線サイズと推奨フェール端子」参照

(*1) 電線先端の被覆は 10~11mm 剥いてご使用ください。



電線サイズと推奨フェール端子

AWG	mm ²	長さ	絶縁力バー無しフェール		絶縁力バー付フェール	
			形番	ご注文形番	ご注文形番	Weidmuller形番
26	0.14	10~11mm	-	-	S3TL-F014-12WC	H0.14/12 GR SV
24	0.25	10~11mm	-	-	S3TL-H025-12WJ	H0.25/12 HBL
22	0.34	10~11mm	-	-	S3TL-H034-12WT	H0.34/12 TK
20	0.50	10~11mm	H0.5/10	90040500000	S3TL-H05-14WA	H0.5/14 OR
		12~13mm	-	-	S3TL-H05-16WA	H0.5/16 OR
18	0.75	10~11mm	H0.75/10	05425000000	S3TL-H075-14WW	H0.75/14 W
		12~13mm	-	-	S3TL-H075-16WW	H0.75/16 W
18	1.00	10~11mm	H1.0/10	02828000000	S3TL-H10-14WY	H1.0/14 GE
		12~13mm	-	-	S3TL-H10-16WY	H1.0/16 GE
16	1.50	10~11mm	H1.5/10	01865000000	-	-

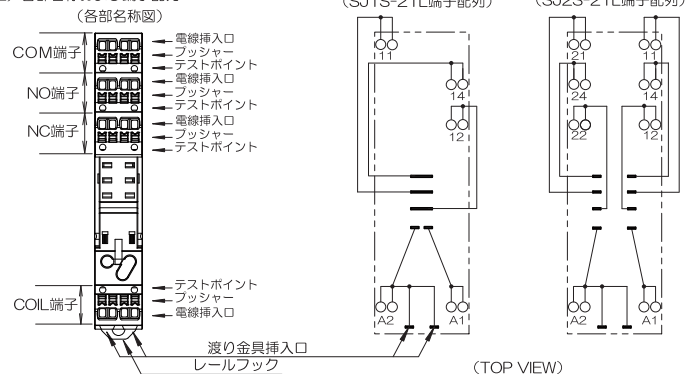
推奨工具 (別売)

名称	形番	ご注文形番
圧着ツール	PZ6 ROTO L	14440500000
マイナスドライバー	SDS 0.4×2.5×7.5	90090300000
ストリッパー	STRIPAX	90050000000

注意

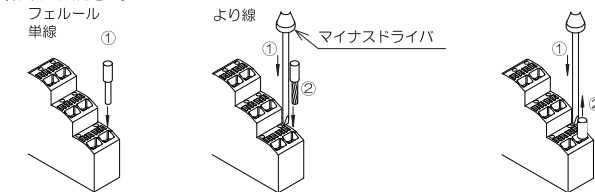
- より線をフェールなしで接続する際は、芯線がはらけないようご注意ください。
- 推奨圧着ツール以外をご使用の場合は、圧着寸法にご注意ください。詳細は3-3をご覧ください。
- マイナスドライバーは刃先サイズが0.4×φ2.5mmのものをご使用ください。

(2) 各部名称および端子配列



(3) 電線接続方法

- 3-1) 挿入時
電線が電線挿入口の奥に突き当たるまでまっすぐに挿入してください。より線を使用する場合はマイナスドライバーでプッシャーを押し込んだ状態で電線を挿入してください。
- 3-2) 抜取り時
マイナスドライバーでプッシャーを押し込んだ状態で、矢印方向にまっすぐに電線を抜取ってください。

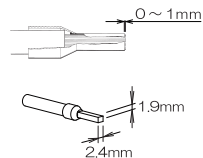


注意

- 電線接続後は、軽く引っ張りしっかり接続されていることを確認ください。
- プッシャーは40N程度で操作し、強く押しすぎないでください。
- プッシャーを押さずに電線を引き抜いたり、斜めに引っ張ったりしないでください。製品が破損し機能なくなることがあります。
- マイナスドライバーは推奨ドライバーまたは刃先サイズが0.4×φ2.5mmのものをご使用ください。
- 3-3) フェール圧着形状と接続時のご注意

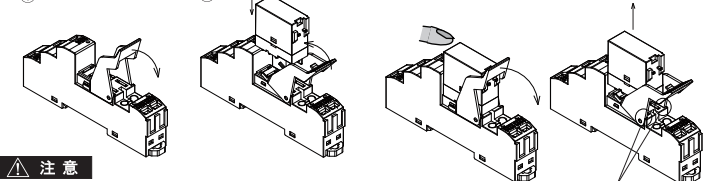
注意

- 使用する電線に適合したフェールを選択してください。
- 使用する電線の先端は可能な限りまっすぐに切断してください。
- フェール導体部の先端まで電線が挿入されていることを確認してください。断面積によって異なりますが、電線はフェール端子から0~1mm出るようにしてください。
- 圧着方法は、使用する工具の取扱説明書に則って操作してください。
- 接続可能最大サイズは、W2.4×H1.9です。フェール端子の仕上がりサイズは、これ以下になるようお願いいたします。
- 推奨工具以外をご使用の場合、適切な形状に圧着ができず、内部のスプリングを変形させてしまい、正常に機能しなくなる恐れがあります。
- 梯形圧着端子は使用できません。



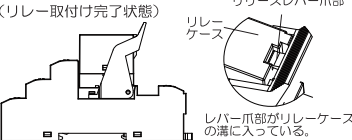
(4) リレーの取付け・取外し方法

- 4-1) リレーの取付
- ① リリースレバーを矢印の方向に傾けて、ロックの方向に傾けて取付け解除してください。
 - ② リレーを挿入し、リリースレバーを矢印の方向に傾けて取付けてください。
- 4-2) リレーの取外し
リレーが落下しないように指で軽く抑えながらリリースレバーを矢印の方向に傾けて、リレーを取外してください。



注意

- リレーは取付け完了状態まで確実に押し込んでください。取付け不完全な場合、リレーが脱落する可能性があります。

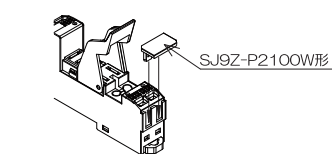


注意

- リレー取外しの際に、リレーが勢いよく飛び出し、リレーが紛失する場合があります。指などで飛び出しを防ぎながら取り外してください。
- リリースレバーは着脱可能な構造になっており、過度の力で操作するとソケットから外れ、リレーの脱落及び破損の原因となります。

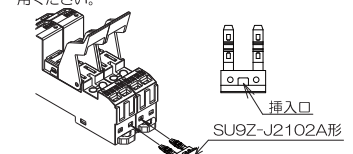
(5) マーキングプレートの取付け方法

下図のように、ソケット本体に真上から差し込んでください。油性ペンによる記入または印字シールの貼付けにより表示が可能です。尚、印字シールの大きさは最大 8.4mm × 15mm です。



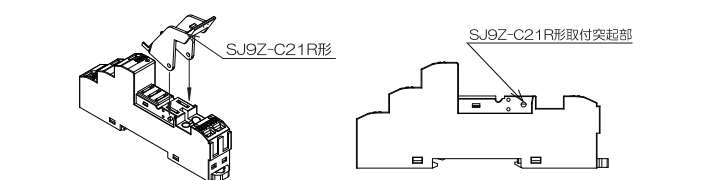
(6) 渡り金具のご使用方法

渡り金具挿入口に、ソケット本体に樹脂部分が当たるまで差し込んでください。取外す際は、下図の挿入口に小形マイナスドライバーを差し込み、引き抜いてください。なお定格通電電流は2Aのため、2A以下でご使用ください。



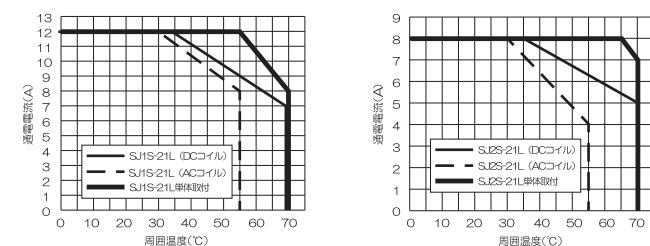
(7) リリースレバーの取付け方法

リリースレバーの取付けが必要な場合は、下図の通り、ソケットの該当する突起部に取り付けてください。



(8) ご使用上の注意事項

8-1) RJシリーズリレーと組み合わせる際は、下表のディレーティング特性を確認の上、ご使用ください。



8-2) RF 2S (強制ガイドリレー) を使用時はAC/DC150V以下の電圧でご使用ください。

注意

- 150Vより高い電圧で使用された場合、強制ガイドリレーの強化絶縁性能を満足しません。

8-3) DINレールへの取付

注意

- DINレールに複数個のソケットを取付ける際は必ず、止め金具E1NL6 (別売) で両側を固定してご使用ください。
- 低温下 (-20°C以下) でのDINレールへのソケット着脱は行わないでください。ソケット破損の可能性あります。

(9) 廃棄上のご注意・ご使用上の注意事項

注意

- 本製品を廃棄するときは、産業廃棄物として扱ってください。

IDEC株式会社

本社 〒532-0004 大阪市淀川区西宮原 2-6-64

<https://jp.idec.com/>

取扱説明書にご不明な点がございましたら、製品問合せ窓口にお問い合わせください。

製品問合せ窓口 ▶

